

- 手術件数は全体的に増加傾向であり手術待機の期間も短くなっています。
- 重症心不全症例に対する補助人工心臓装着などに積極的に取り組み、年を追って増加傾向にあります。
- 大動脈瘤に対する治療も、人工血管置換術とステントグラフト治療とハイブリッド治療を症例によって使い分けています。
- 弁膜症手術では、逆流性疾患については、可能な限り、自己弁を温存した術式を採用しています。2017年1月からTAVI（大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁留置術）が導入されました。

